

回収されたミックスペーパーはどうなるのでしょうか？

市内で回収されたミックスペーパーは、川崎区臨海部の三栄レギュレーター株式会社に搬送され、トイレットペーパーの原料として利用されます。この会社は、川崎市が推進しているゼロエミッション工業団地の中核企業であり、再生利用が困難な難再生古紙をリサイクルできる特許を有しています。また、処理過程で生じる焼却灰や金属類の再生利用、廃プラスチックのサーマル（余熱）利用等、廃棄物のゼロエミッションを図っています。

回収したミックスペーパーの処理工程

回収されたミックスペーパーは、これまでリサイクルが困難であった難再生古紙も含め、次のような処理工程を経て、トイレットペーパーとして再利用されます。

回収

分別回収されたミックスペーパーが施設に搬入されます。

溶解

回収されたミックスペーパーは、ベルトコンベアでパルパーと呼ばれる溶解槽に落とされ、水でかき混ぜられ、細かい紙の繊維（パルプ）に戻されます。



パルパー

精選

パルパーで細かくほぐされたパルプに混入しているプラスチックやクリップ、ホチキス等の異物を取り除きます。

脱墨

パルプを繰り返し洗浄してインクを取り除き、きれいなパルプにします。

抄紙

水を含んだパルプを薄くのばして乾かします。

加工

紙にプリント、エンボス（紙の表面にでこぼこをつける）加工し、製品の大きさにカットします。



三栄レギュレーター(株)
東京工場の所在地：川崎市川崎区水江町6番10号



施設見学会

平成20年1月30日に行った三栄レギュレーター施設見学会の風景（ミックスペーパーモデル事業に参加いただく中原区の町内会の皆さんと一緒に）



ミックスペーパーを原料に使ったリサイクルトイレットペーパーの完成です！